

一般質問の概要

令和3年第3回 二宮町議会定例会

○9月15日（水）午前9時30分～

（前田憲一郎、羽根かほる、大沼英樹、渡辺訓任、野地洋正 各議員）

※両日とも2番目以降の質問開始時刻は、直前の質問終了後となりますので、不確定です。

No	質問予定議員	質問概要
1	前田 憲一郎 議員	<p>二宮町一般会計予算教育費について問う （放映件名：二宮町一般会計予算教育費について問う）</p> <p>一般会計予算に占める教育費の構成比が、ここ1、2年10%台と増えているものの、平成20年代半ばと比較すると構成比はかなり低い。神奈川県内他の町村の一般会計予算書、予算概要を見ると、二宮町の教育費、特に児童生徒一人あたりの教育費は少ない。二宮町一般会計予算総額からして、1%下がるだけで、約9千万円もの減額になる。運動施設の運営経費が増額されている中、どのような方針、根拠のもと積算され予算が組まれているのか予算編成の仕組み、内容に疑問を感じる。二宮町は子育ての町、子どもたちの教育に力をいれている町と謳っている。以前質問し、答弁いただいたように小中学校の教材、教具は文部科学省の基準を大きく下回っている品目が多い。教材教具を購入できないので、よりよい授業を展開するために教員自身で教材等を購入し授業を展開している教員もいる。器具等の安全面に関する点もおそろかになっている。一つ間違えれば大怪我につながる事故になりかねないものもある。学校教育費の構成比を上げ、以前のように備品、消耗品を購入できるようにすべきである。青少年指導員、スポーツ推進委員が青少年育成、地域の健康づくりのために活動したくともこの少ない事業費の額では思い通りに十分な活動ができていないのではと思う。運動施設面ばかり増額ではなく、文化的な活動、図書館、ふたみ記念館の運営に関しても増額すべきだ。二宮町の備品は5千円以上だが、5千円で備品というのでは消耗品が欲しくても買えない。この金額は何を根拠にいつ決めたのか。現状にそぐわない。岐阜県岐阜市では、市独自の予算を計上し、不登校生徒のために、旧小学校をリニューアルし、「学校らしくない学校」を合言葉に不登校特例校を開校した。二宮町でも不登校児童生徒が増えており、現在行っている対応では事足りず、予算はかかるが先を見た内容で検討していく必要がある。松田町では、本年度教育費に一般会計当初予算65億7千万円のうち25億4千5万円、約39%を教育費に計上し、そのうち20億6千万円余りを使い木の学校づくり先導事業として、小学校の校舎を建設する。二宮町は小中一貫教育に力を入れている町として教育新聞で紹介されていた。本当に小中一貫教育に力を入れているのなら、ここで確固たる予算を計上し、施設一体型小中一貫教育校を作る計画を立て実行に移すべきである。そこで、次の要旨について答弁いただきたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育費の予算編成の明確な方針、根拠、内容についての考えをうかがいたい。 2. 保健体育費において減額できる箇所がある。精査し減額することにより、教育費の総額を増やさずとも、学校教育費、社会教育費を増額できる。現状から見て予算内容を精査する必然性があると思うがいかがか。 3. 岐阜市では、独自の予算を計上し、不登校生徒のために旧小学校をリニューアルして不登校特例校を開校した。二宮町でも不登校児童生徒が増えている現状があり、これから益々増えると予想できる。検討事項の一つにできないか。 4. 小中一貫教育に対し、力を入れているのなら、予算立てをし、施設一体型小中一貫教育校を作る計画を立て、それから一貫教育を推し進めるべきだと思うがいかがか。

2	羽根 かほる 議員	<p>新庁舎・駅周辺公共施設再編計画について (放映件名：新庁舎・駅周辺公共施設再編計画について)</p> <p>新庁舎・駅周辺公共施設再編計画は、庁舎だけではなく、駅周辺の老朽化が進む公共施設を一体として考え、再編していくという主旨の計画と理解をしている。9月より町民ワークショップの開催が予定されており、町民の意見を踏まえ、今後どのように進める予定なのか。以前の計画を踏襲する部分はどの部分なのか。また、本年7月の大雨では、町内で土砂災害が発生し、8月15日、近隣地域では一時間に100ミリを超える大雨となった。新庁舎は集中豪雨が今後も発生をする前提のものと考え、災害時に町民を守る体制を万全に整えている庁舎でなくてはならない。わが町は施設再編の大きな転換期を迎えており、また非常に大規模な計画である。新庁舎・駅周辺公共施設再編計画について、町民のワークショップスタート前に改めて、下記の点について整理をする必要があると考え、以下の内容を問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 計画の全体像について 2. 新庁舎の災害対策について 3. 町民ワークショップの目的と計画の今後のスケジュールについて 4. 計画の財政面について
3	大沼英樹 議員	<p>自然災害の発災・対応と危険区域の考え方について (放映件名：災害の予見と施政に問題は無いかを問う。)</p> <p>土砂災害警戒区域および浸水危険区域（ハザードエリア）等の災害対応および計画に問題がないか確認すると共に、ハザードエリア内および土砂災害警戒区域に隣接する新庁舎建設構想を含む「駅・ラディアン周辺施設まちづくり計画」について世界的にも年々増加、拡大している風雨災害をどの様に考えているのかを尋ねる。</p> <p>要旨1 7月3日に起きた土砂流出等災害の対応が適切かを問う。</p> <p>要旨2 二宮町地域防災計画と災害対策本部の運営は適正かを問う。</p> <p>要旨3 葛川氾濫時の危険と依然としてハザードリスクのある駅・ラディアン周辺施設まちづくり計画並びに新庁舎建設構想が適切かを問う。</p>

4	渡辺訓任 議員 (2件)	<p>新型コロナウイルス対策の抜本的な強化を町として進めよ (放映件名：新型コロナウイルス対策の抜本的強化)</p> <p>7月後半から二宮町でも新型コロナウイルス感染者は急激に増加している。10歳未満から30代で、家庭内感染を含め町内での感染の拡大が進んでいることも特徴の一つである。町では、ワクチン接種の推進、いわゆる「3密」の回避の環境、公共施設の使用制限などによる人の流れの抑制などを進めてきた。しかし、感染力の強いデルタ株への置き換わりで、急拡大前とは全く違った様相を示している中、抜本的な対策の強化が求められるのではないかと。</p> <p>今後も増えると思われる感染者への対応、心配される学校や子育て関連施設での感染防止を含めた感染防止策の強化について、下記のように問う。</p> <p><質問要旨></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 町での新型コロナウイルス感染者急増の背景・原因をどのように認識しているか。 2. 今後の感染拡大防止対策についてどのような点を強化していくのか。 3. 小中学校での拡大抑制策は。 4. 感染が確認された方々に対してはどのような措置がされているか。
		<p>吾妻山SOS。保全の体制づくりを求める。 (放映件名：吾妻山SOS 保全体制づくりを)</p> <p>自力で登ることが難しい障がい者、高齢者が展望を楽しめるための準備も進められている吾妻山公園であるが、今夏、山全体にナラ枯れが目立つようになり、さらに7月3日の豪雨で吾妻山公園の谷筋の一部で土砂崩れが起きた。公園を含む「吾妻山全体の様相が変わってきたのではないかと」の心配も町民から寄せられている。ナラ枯れも土砂崩れも吾妻山の一つのSOSではないだろうか。環境保全という立場から、吾妻山の保全・管理について下記のように問う</p> <p><質問要旨></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ナラ枯れの急激な拡大について、原因についての認識と管理の目標は。 2. 吾妻山を里山として再認識し、枯れないうちに伐採をおこない樹木を再生するほか、伐採木を薪やほだ木として利用する「利用と再生」を進める考えをどのように評価するか。 3. 新しい里山管理方法の実現にあたって、町が吾妻山保全・管理の計画を立てることを求めるが、どのように考えるか。 <p>以上</p>

5	野地洋正 議員	<p>吾妻山公園の新たな魅力づくり (放映件名：町の宝「夢ある吾妻山へ」)</p> <p>都市公園として昭和62年(1987年)に開園して以来35年を迎えようとしている吾妻山公園。自然を守りつつ、町民の憩いや健康増進の場として、また四季折々の植物、空・山・海その眺望は、町外から訪れる観光客、遠足の子どもたちも魅了してきた。現在も公園を中心とした吾妻山は町のシンボルであり、宝として大切に思う町民は多く、この財産は、さらに魅力を創造し「夢ある吾妻山」として将来に引き継いでいかなければならないと考える。</p> <p>これまでも計画的に整備は行われ、直近では平成21年度に「吾妻山公園基本計画・基本設計」を策定し、老朽施設改修、バリアフリー化、魅力度向上に努めてきたが、10年経過し、吾妻山公園に求められるものが少しずつ変化しているように感じられる。議会は、産業振興に吾妻山公園の活性化は欠かせないとして、令和2年9月定例会において提言書、加えて令和2年度および令和3年度の予算審査意見としても取り上げており、また町民からもさまざまな提案がなされているのが近頃の動きである。</p> <p>老若男女さらに多くの町民に愛され、観光客の増強を産業振興につなげ、三等三角点や外国人遊歩規定標石等の歴史保全等々、当初の目的を守りつつ、10年後、20年後を見据えた新たな魅力創造計画、(仮称)「吾妻山公園 新生長期計画」を町民とともに築き上げられたく提案、質問する。</p> <p>1、現在、吾妻山をどのように捉え、吾妻山公園の整備、維持管理をしているか 2、将来の吾妻山の位置づけ、理想の吾妻山公園をどのように考えるか 3、吾妻山公園整備における課題、その対策は 4、吾妻山公園の新たな魅力創造、整備、維持管理のために長期的計画を策定する考えは</p>
---	------------	--